

# 星河金属 創業50周年に向け

きょうから  
新社名

# アルメック

## 展望を聞く



星河年男社長

【名古屋】地区有力ヤードディーラーの星河金属（本社＝愛知県豊明市前後町三ツ谷1361、星河年男社長）は、8月1日付で社名を「アルメック株式会社」に変更した。来年迎える創業50周年を節目にパブリックカンパニーへの飛躍をめざすもので、時代のニーズに深く対応したリサイクル事業の業容拡大・充実を図る方針だ。星河社長に社名変更、展望などを聞いた。

# 活力再生工場めざす

――社名変更の理由

「リサイクル企業の果たすべき役割が増えている中で、当社がめざす事業形態や理念が従来の社名に収まりきらなくなってきた。とくに会社の活力たる人材との出会いを考えると『何屋さんなのだろう』と思われるも構

われない。まずはイメージの膨らむ、夢を託しても

らえる社名が必要だと感じた。この50年を振り返る時『これまでやってきたから、その繰り返して良い』という現状維持的な発想を捨て、志を新たに原点復帰する気持ちだ。来年は50周年の記念式典を行う予定で、社史も編纂している」

――新社名の意味は。 on（環境保全）。Cはい量も16万トに増えた」  
「Contributi on（寄与・貢献）」を意味している。――改革に向けた取り組みは。 「スクラップ価格は今年や7万円の時代に突入り、業界は活性化している。――事業内容について

「鉄・非鉄・プラスチックのリサイクルを手掛ける。大型設備による加工処理、手作業による品別の選別処理、ガス溶

「アルメックは我々が大切にしているキーワードで構成した。頭文字のAには、経営方針のお客様第一主義、社長としての社員第一主義を込めた『A-1』（すべて・皆）を。Rはコア事業である『Recycle』。Mは『Material』（原料・素材）。Eは『Environmental』。Pは『Preservati

断加工処理などを行い、鉄鋼メーカーを中心に向け先別のニーズに合わせて出荷している。他方、工場環境や危険作業などに週1回のミーティングで対策を講じ、環境安全と改善、安全意識の深化に努めながら製品質の向上に取り組んでいる。年商は100億円超

であるためには組織的な動きが必須になる。このため制度の構築と人材教育に注力しており、制度面では等級ごとの役割を明確にする一方、モチベーションを上げる目的で人事制度を整備し、併せて賞与・退職金制度の改革を行った。教育面では、部門別に自身の存在価値を高める研修を実施し、年初には研修時の社

員の意見をまとめたミツションブックレットを発行した。これは当社の行動基軸となっており、全社員が携帯し、朝礼で唱和している」

――どのような企業をめざすか。 「会社経営の原点を追求すれば、会社の存在意義に行き着く。そこで当社は『活力再生工場』本来持つ活力を息吹かせる場所」となることをビジョンに掲げた。あらゆる資源の本来の価値をリサイクルによって再生することともに、我々の中にある活力も呼び起こし、お客様や地域、環境保全に貢献したい。社名変更を新たなステージへの第一歩に、来年4月には7名の新卒入社で社内へ新しい風が吹く。社員全員で成長しながら、より大きな活力を提供できる企業へと邁進していきたい」（阿部 拓也）